

主な内容

- 1P. 第34回一中地区コミュニティまつり
- 2P. いきいき茨城ゆめ国体
- 3P. 私のふるさと・思い出
- 3P. 地域のいきいきさん・地域のわだい
- 4P. お庭拝見・健康コーナー
- 4P. 部会だより

ふれあい

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) ☎029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

34回目を迎えた 一中地区コミュニティまつり!!



11月9・10日、一中地区コミュニティまつりが開催されました。雲一つない秋晴れに恵まれ、大勢の人で賑わいました。館内には多彩な作品が展示されて、訪れた人達は年々レベルアップしている作品に、感心していました。館外の工夫を凝らしたイベント・模擬店には、それぞれの「お目当て」を目指す長い行列ができました。今年、長堀小学校6年生が「中丸川的环境を守る取り組み」の発表やゲームなどで、まつりに参加しました。



特賞 当たっちゃった!!



唱歌を唄う♪ 喫茶コーナー



長堀小学校庭で6年生が発表



まつりの賑わい



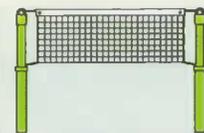
このように斜めにすくうのよ!



国際色豊か 私も出展しています🍀



いきいき茨城ゆめ国体 2019



“バレーボール” 熱戦にわきあがった歓声

第74回国民体育大会のバレーボール競技会が10月2～5日、松戸体育館・勝田工業高校体育館（少年男子）、市総合運動公園総合体育館（成年男子・女子）で開催されました。

松戸および勝田工高の体育館では、一中地区のボランティアも、競技の様々な裏方業務を担当、スムーズな進行を支援しました。白熱した試合の結果、茨城県は出場24チーム中、7位に入賞。

なお、市総合体育館で行われた成年男子は5位、成年女子は3位に入賞しました。



↓ 打ち合いが続き、熱気に包まれる松戸体育館 →



会場に響き渡る応援団の声援



試合の行方を見守る観客



ボランティアの皆さんが大活躍



勝田工高コートで最終調整する茨城県チーム



屋外の模擬店も大忙し



地域のイキイキさん



明るく積極的に!

東中根団地自治会
長谷川 浪江さん (93)

大正15年生まれの浪江さんのお宅を訪問して、お元気の秘訣を探ってきました。

水戸生まれの浪江さんは、教員をしていたご主人と結婚。専業主婦として3人の子供を育てていた40歳の頃、年老いた両親の世話をするために、家族で勝田に越してきました。その後、無事子供たちは成人。教員となって結婚した長女の子供の面倒を見るために、東中根団地に移り住みました。手作りのセーターや服を着せるなど、子供や孫の成長を楽しみに家庭を守ってこられました。

ご主人が定年を迎え、孫たちも手が離れた60歳の頃、子宮がんが見つかり2カ月入院。治ったと思った70歳では大腸がんになり、ご主人がご飯を作るなど世話をしてくれ、二人でがんを克服しました。その面倒見の良いご主人も、今から14年前89歳でお亡くなりになりました。

今は子宮がんの後遺症のリンパ浮腫で、右足が左足の倍ほどに浮腫んでいます。それでも杖をついて歩き、身の回りのことは自分でしています。「時々ズキズキするけど、我慢できないほどではない。2回もがんになって生きていられるんだから、足くらい何でもない」と、明るい浪江さんです。

また、「あずま会」(地域の老人会)に入り、歌・体操・折り紙・輪投げなどの活動や、花見会・お誕生会などの行事に参加しています。休んだりすると作品を届けてくれるなど、友達がたくさんいるようです。「みんなが待っていてくれて、ありがたい」と話す浪江さん。

お元気の秘訣は、**地域に積極的に参加する前向きな心と仲良しの仲間、そして近くに世話をしてくれる娘さんがいること**だと分かりました。



あずま会の仲間と



花見会

私のふるさと

新潟に生まれて

富士山自治会

土田 良春

私は七十数年前に、新潟県西頸城郡能生谷村(現糸魚川市)に5番目の四男として生まれました。地図で見ると海に近い所ですが、高い山と家の前に小さい川が流れていたのを覚えています。

7歳の時、大きな地滑りが起こり村の半分が土砂で埋まってしまいました。昼間だったので家族8人(両親と兄弟6人)は無事でしたが、私の家も潰れました。それから親せきの家に世話になり、2年後にやっと同じ村でも山から離れた平らな場所に、私たちの家が建ちました。

近くの川で、友達と泳いだりイワナやヤマメを捕って焼いて食べたりしたのが、楽しい思い出です。でも冬は雪が降り続き、2メートル位の積もった雪



職。横浜で知り合った家内と結婚し、家内の実家のあるひたちなか市に移り住んで30年以上が過ぎました。ここは自然災害にも強く、住みやすい所です。

に囲まれ、家の中でカルタをしたりマンガを読むくらい。春が待ち遠しかったものです。

2キロ離れた小学校まで、兄弟と一緒に歩いて通いました。一晩で30センチ位の雪が積もるので、朝のうち親が隣の家まで道を作ってくれました。中学校までは5キロ、自転車は禁止でしたから皆歩いて通いました。そのうち、学校近くの知り合いの家から通うようになりました。

学校を出てから、東京に就職。横浜で知り合った家内と結婚し、家内の実家のあるひたちなか市に移り住んで30年以上が過ぎました。ここは自然災害にも強く、住みやすい所です。

思い出

旅と写真

大成町自治会

齋藤 文男

写真を撮る始めて21年。フォトクラブの撮影会をはじめ感動的な出会いを求めて、ひたすら走り続けている。写真の勉強会はブログエクターを使い、また写真家の図録を参考にすることもあつた。「土門拳」の作品を見て感動があり、一度は作品を見たいと思っていた。

平成16年10月。この年の撮影会は26名が参加し、山形県酒田市近郊の撮影を兼ねて、希望であつた「土門拳記念館」を訪れた。氏の遍歴の胸打つ記録作品を鑑賞することができ感無量だつた。最高傑作とも言われた仏像の大画像をはじめ、絞り込まれた鮮明さは見応えがあつた。また、モノクロの作品で、二人の子供が裾丈の短い着物姿



愛用のカメラ

気が付けば、後期高齢者の仲間入り。その後心のおもむくままに、生き甲斐を感じさせてくれる写真を撮りながら、撮り続けている。

で破れ傘を笑顔で回している光景は、臨場感を覚えるほど私の好きな作品である。

当日は、山形県鳥海山の中腹に位置する「国民宿舎大平山荘」に宿泊した。私達が営業最後の宿泊者と聞き、寂しさを感じた。その夜、会食中に2度ほど大きな揺れを体感した。通信が途絶え被害の状況は知る由もなく、翌日は何事もなかったように撮影しながら帰宅した。昭和39年に次ぐ大きな新潟県中越地震で、山古志村が壊滅する程の震災だったことを帰ってから知り、驚いた。

地域のわだい

西中根の絆を支えるおやじの会

西中根自治会長 重田 政之

会の愛称“おやじの会”はPTA活動のお父さん会としてよく耳にはするが、西中根では“地域の若衆組”意気込みの西中根男子会。結成7年目の若い組織で、発足の原点は夏まつりテントの突風安全対策への使命感。今では運動会の世話役をはじめ、どんど焼きのやぐら造りや防災給水訓練にも参加し、西中根の各種団体とのコラボに務めている。

また、おやじの会としてもオープンゴルフコンペを催したり、家族や友達などを招いてのバーベキュー大会では、材料から調理までの一切を男の手で行い、地域の強い絆を育んでいる。



火柱を上げる竹のやぐら

竹の盃



どんど焼きでのおやじの会

待望の道路拡幅工事始まる

金上自治会長 関口 勝夫

金上は昔ながらの道路が多く狭くて、長年の問題となっています。その中で金上のメイン道路とも言われる金上自治会館前の道路が、歴代の自治会長・関係者各位の尽力により拡幅されることになり、本年度から工事が始まりました。今は、この工事に伴う電柱の新設工事等が進行しています。本年度中には側溝の完備、来年度中には舗装が完成することです。

完成時には6m道路となり、対向車との譲り合いの問題もなくなり、生活道路としての利便性も向上し、住みよい金上に繋がる大切な道路になるものと今から期待しています。



工事の始まった金上自治会館前道路

長堀初の出張エコランド

長堀小学校 6年 山本 航大

ぼく達6年生は、11月10日に行われた一中地区コミュニティまつりに参加しました。「出張エコランド」として、総合の学習で学んできた環境の大切さや、中丸川の環境改善のために自分達が行ってきた活動を、地域の人にも知ってほしかったからです。ポスターやタブレットで、中丸川や他の環境をよごさないように呼びかけたり、松ぼっくりなどの自然物やペットボトルキャップを使ったエコ工作を体験できるブースを考えたりしました。また、遊びを通じて環境について楽しく学べる工夫も考えました。

来てくれた人みんなが笑顔になってくれて、とてもうれしくなりました。



お庭拝見 中根自治会

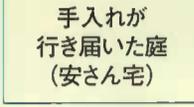
色づいた木々や秋の花、旬の果樹をさがしてみました。



見事な植栽の庭 (西野さん宅)



皇帝ダリア



手入れが行き届いた庭 (安さん宅)



ギョリュウバイ (白川さん宅)



秋の彩りを見せるもみじ (吉田さん宅)



レモン



ユズ

地域の果樹

こんな時は おとしより相談センターにご相談を!!

健康コーナー

今回は、おとしより相談センター相談時の情報をお知らせします。南部おとしより相談センターの担当地区は勝田第一中学校区・大島中学校区です。

おとしより相談センターでは、電話相談の他に、皆様のご自宅へ伺って相談に対応させていただく場合と、ご本人やご家族様がおとしより相談センターに来所されて相談を受ける場合があります。来所しての相談をご希望される場合は、事前に連絡をいただき相談日時を決めたうえで来所されると大変スムーズです。また、介護保険の申請をお考えの方は【65歳になると交付される介護保険証】と【主治医や病院名が分かる診察券等】をご持参下さい。

介護保険の認定には要支援1・2と要介護1〜5までの認定があります。すでに要介護認定をお持ちの方は、市内の居宅介護支援事業所に直接相談をしていただく事が可能です。要支援の認定をお持ちの方やまだ介護保険の申請をされていない方が、介護保険のサービスを利用希望の際の相談をお受けします。例えば「最近両親の足腰が弱ってきて心配。デイサービスや運動など通える所はないですか?」「布団で寝起きをしているが、起き上がりが大変になってきた。ベッドは借りられますか?」「施設を探したいがどうやって探したらいいですか?」また「入院中で、病院からおとしより相談センターを紹介された。退院してからの事を相談したい」など、相談内容やタイミングはそれぞれ違うと思います。

少しでも心配な事や不安と思う事があれば、お気軽にご相談下さい。

介護保険の保険証 (薄紫色、三つ折り)



医療保険の保険証とは別に、一人に1枚、保険証(介護保険被保険者証)が交付されます。

- 65歳に到達する月に交付されます。
- 40歳以上65歳未満の人は、介護保険の認定を受けた場合などに交付されます。

住所、氏名、生年月日などに誤りがないか確認しましょう

- ★要介護認定の申請や更新をするとき
- ★ケアプランの作成を依頼するとき
- ★サービスを利用するとき

☎029-354-5221

部会だより

安全防災部会

部会では、毎年コミセンまつりに餅つきコーナーを担当している。今年も、朝早くからかまどで餅米を蒸し、消防団の部員が杵で餅をつき、交通安全母の会の部員が餅を丸めてパック作り。9時から売り始め、売り場には長い列ができた。用意した900パックの餅が、12時半に完売した。売り場では交通安全のピラを配り、啓もう活動も行った。



青少年部会

9月28日、親子わくわく体験事業として、今年度は「星空かんざつ会」を実施した。前評判良く123人が参加したが、あいにくの曇天により星空は望めなかった。しかし、JAXA所属の講師による「星と宇宙の講義」に、親子共々熱心に聞き入った。また、子どもたちは高度な質問が相次ぎ、JAXAの方もびっくりされていた。



文化部会

「コミセンまつりの作品展示部門を毎年受け持っている。今年も9月中旬に、参加団体から出展される作品の種類・点数などを把握して、展示会場の配置図を作成した。まつり前日は、各参加団体・自治会の方などの協力を得て、配置図をもとに展示会場を設営した。まつり終了後は、皆さんの協力で展示会場の設営資材を撤去し、後片付けを行った。



福祉部会

9月17日、20人の参加により、笠間市鯉淵にある「社会福祉法人 自立奉仕会 茨城工場」を視察研修した。この施設は、障がい者が真に自立し奉仕されることを目標に設立された。製造部門の現場で細かい作業を丁寧に行い、高いクオリティを目指して努力している姿勢は、まさに「日本のものづくり」そのものだった。



環境部会

当部会は、毎年コミセンまつりで花苗売りとバザーを担当。前日の準備は、高齢者が大半の部員が総出で力を合わせてテントを張り、机・椅子の設置を行った。販売当日は、花苗約280ケースの荷下ろしに汗を流した。準備に骨を折ったが、その甲斐あって花苗・バザーとも盛況だった。



体育部会

9月22日、51人の参加を得て第2回ノルディックウォーキングを開催した。石川運動ひろばで講習会を実施し、親水性中央公園をまわり、石川運動ひろばまで動ひろばまで戻る4kmのコースを元気に歩いた。



編集後記

今号は、45年ぶりに茨城ゆめ国体が開催されたので、少年男子バレーボール競技会を松戸体育館・勝田工業高校で取材し、掲載しました。今年も、一中地区大運動会が行われませんでした。